

# 建設経済情報「速報値」(10月報告)

平成19年10月10日  
企画部 技術管理課

## < 東北地方の現況と見通し >

**鉱工業生産指数は10.0%上昇、有効求人倍率0.00ポイントと横ばいなど、日本銀行の地域経済報告が言う様に、東北全体の景気は、緩やかながら着実な回復を続けている。**

**一方、公共工事請負金額の総額は東日本建設業保証㈱調べでは減少傾向にあると言われている。こうした中、19年9月は前年同月比20.8%減の1,064億円となった。**

### 1. 東北地方の景気動向

19年7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、111.7と前年同月比10.0%上昇。

19年8月の景気現状判断(DI)は、42.0と前年同月比7.6ポイント低下、有効求人倍率(季節調整済)は、0.76倍と前年同月比0.00ポイントと横ばい。

### 2. 建設業の動向

19年7月の建設工事受注金額は、前年同月比15.6%の減少。

19年8月の建築物着工床面積は前年同月比30.8%の減、新設住宅着工戸数は前年同月比33.9%の減、建設労働需給不足率は0.4%と過剰傾向。

19年9月の全企業倒産は件数で前年同月比36.5%の減少、負債額は前年同月比72.4%の増加。

なお、建設業の倒産件数は16件(前年同月比52.9%減)、負債額は63億円(前年同月比1.0%減)と全産業で最多。

## 目 次

### < 施工 >

公共工事請負金額	1
建設工事受注金額	3
建築物着工床面積	5
新設住宅着工戸数	7
19 年度事業費等見込み額	9

### < 労働 >

建設労働需給の不足率	10
------------	----

### < 倒産 >

企業倒産	11
------	----

### < 景気 >

企業短期経済観測	13
----------	----

< 参考：主な経済指標 >	14
---------------	----

景気現状判断 (DI)

鉱工業生産指数

大型小売店販売額

消費者物価指数

有効求人倍率

完全失業率

輸出入額

# 施工

## 1. 公共工事請負金額（19年9月実績。東日本建設業保証）

東北の公共工事請負金額計は、前年同月比で20.8%減の1,064億円となっている。

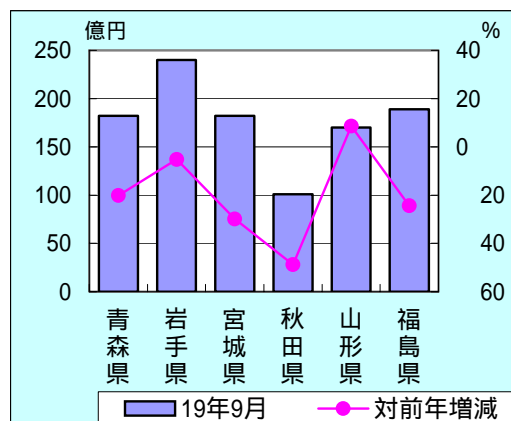
内訳は、地方公社（37.8%減）、独立行政法人等（35.1%減）、市町村（31.0%減）、国（17.7%減）、県（14.8%減）がいずれも減少となっている。

県別の前年同月比では、山形県（8.6%増）が増加となっているものの、秋田県（48.8%減）、宮城県（29.9%減）、福島県（24.4%減）、青森県（20.1%減）、岩手県（5.2%減）が減少となっている。

### 公共工事請負金額

単位：億円 %

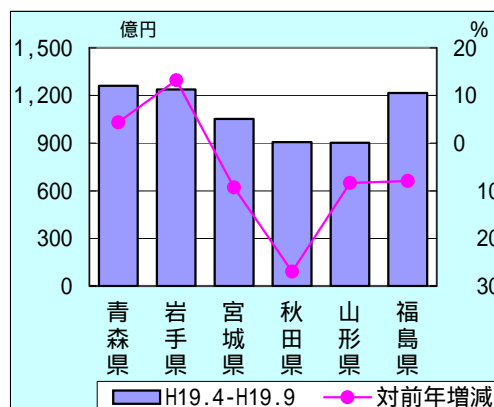
	19年9月	対前年増減
東北計	1,064	20.8
青森県	182	20.1
岩手県	240	5.2
宮城県	182	29.9
秋田県	101	48.8
山形県	170	+8.6
福島県	189	24.4



### 公共工事請負金額年度内累計

単位：億円 %

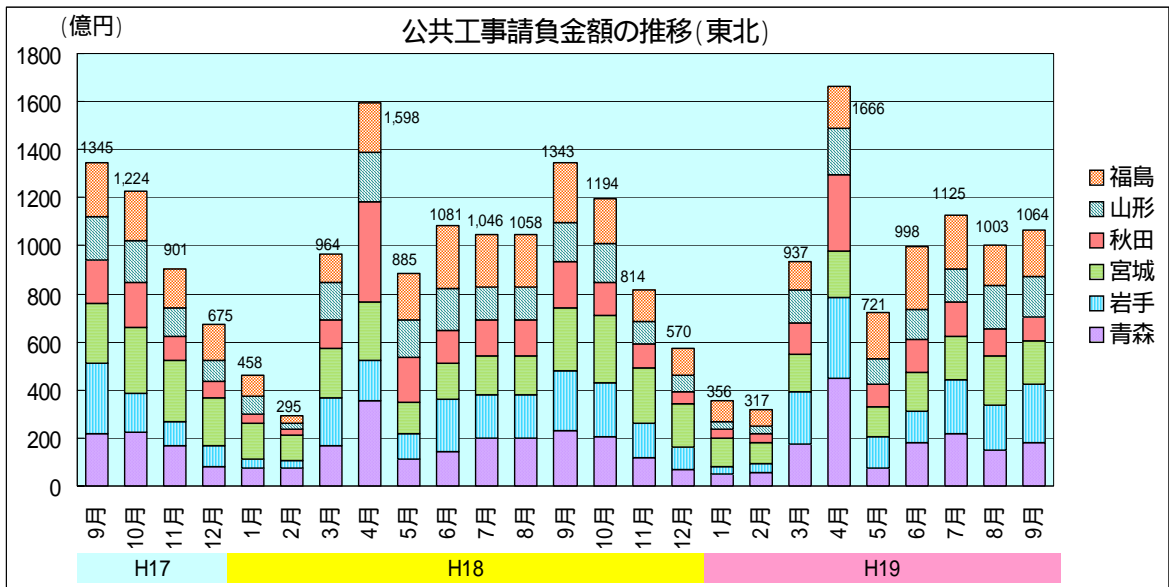
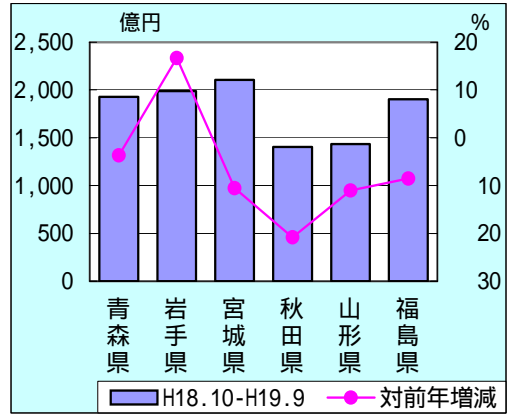
	H18.4-H18.9	H19.4-H19.9	対前年増減
東北計	7,010	6,578	6.2
青森県	1,209	1,262	+4.4
岩手県	1,092	1,237	+13.2
宮城県	1,160	1,052	9.3
秋田県	1,241	907	27.0
山形県	985	903	8.3
福島県	1,322	1,217	7.9



### 公共工事請負金額 1年累計

単位: 億円 %

	H17.10-H18.9	H18.10-H19.9	対前年増減
東北計	11,527	10,766	6.6
青森県	2,003	1,929	3.7
岩手県	1,704	1,989	+ 16.7
宮城県	2,352	2,104	10.5
秋田県	1,772	1,403	20.8
山形県	1,614	1,436	11.0
福島県	2,082	1,904	8.5



## 2. 建設工事受注金額（19年7月実績。国土交通省）

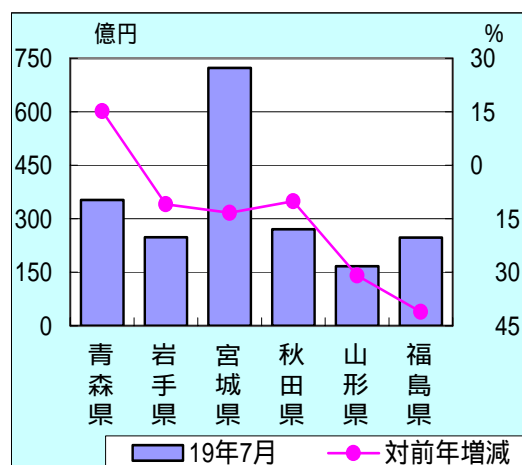
全国の受注高は4兆4,550億円で、前年同月比6.7%増となった。

東北は前年同月比で、青森県（15.2%増）が増加となっているものの、福島県（41.1%減）山形県（30.9%減）宮城県（13.3%減）岩手県（10.9%減）秋田県（10.1%減）が減少となり、全体で15.6%減の2,007億円となった。

### 建設工事受注金額

単位：億円 %

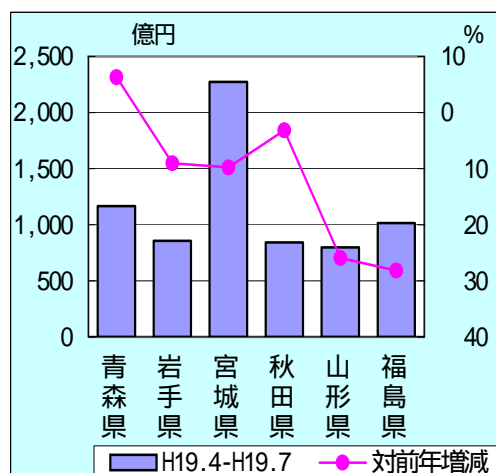
19年7月	受注高計	対前年増減
全国	44,550	+6.7
東北計	2,007	15.6
青森県	353	+15.2
岩手県	248	10.9
宮城県	723	13.3
秋田県	270	10.1
山形県	167	30.9
福島県	247	41.1



### 建設工事受注金額年度内累計

単位：億円 %

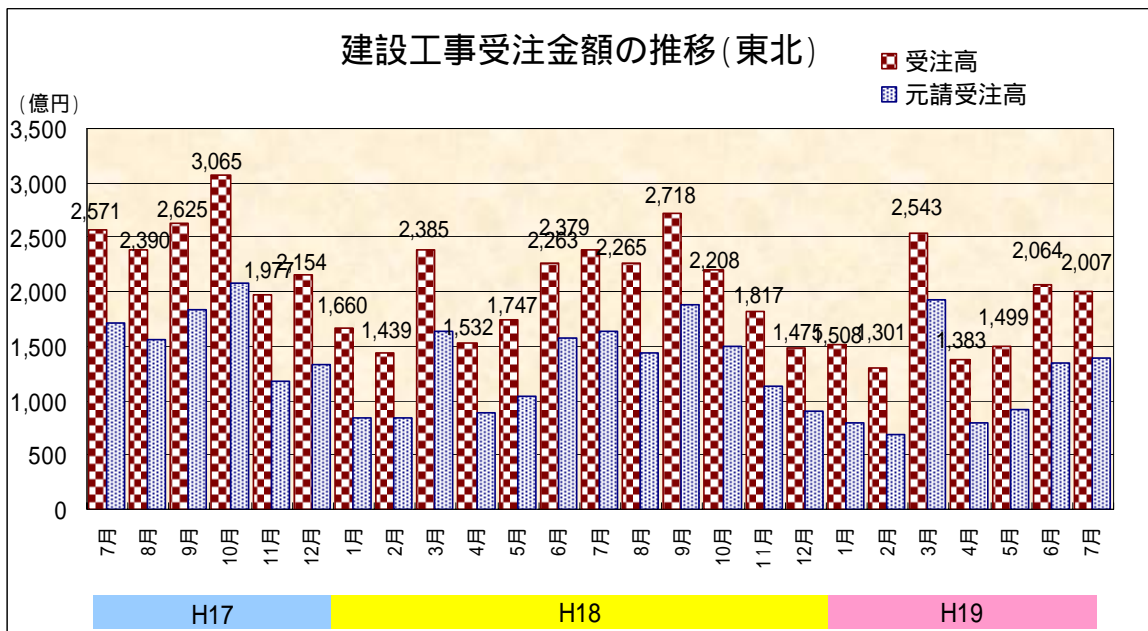
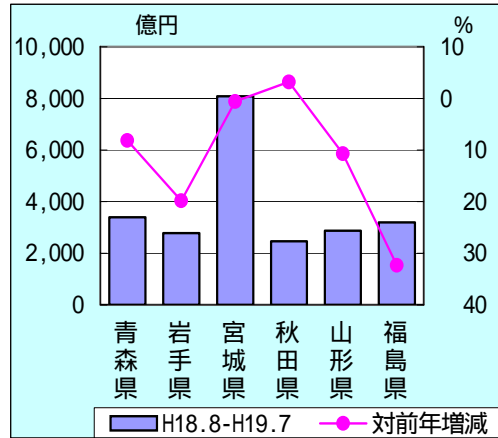
	H18.4-H18.7	H19.4-H19.7	対前年増減
全国	157,674	170,928	+8.4
東北計	7,921	6,953	12.2
青森県	1,098	1,167	+6.3
岩手県	943	857	9.0
宮城県	2,520	2,274	9.8
秋田県	868	841	3.1
山形県	1,078	799	25.9
福島県	1,414	1,015	28.2



### 建設工事受注金額 1年累計

単位:億円 %

	H17.8-H18.7	H18.8-H19.7	対前年増減
全 国	539,681	532,872	1.3
東北計	25,618	22,789	11.0
青森県	3,702	3,401	8.1
岩手県	3,463	2,777	19.8
宮城県	8,125	8,080	0.6
秋田県	2,386	2,463	+3.2
山形県	3,216	2,871	10.7
福島県	4,725	3,197	32.3



### 3. 建築物着工床面積（19年8月実績。国土交通省）

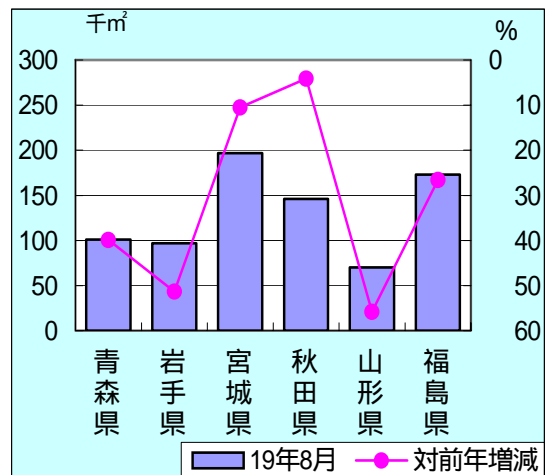
全国の建築物着工床面積は、前年同月比で非居住用(42.5%減) 居住用(41.8%減)が減少したため、全体では42.1%減の9,816千㎡となった。

東北は前年同月比で、山形県(55.8%減) 岩手県(51.3%減) 青森県(39.9%減) 福島県(26.6%減) 宮城県(10.5%減)、秋田県(4.1%減)がいずれも減少しており、全体では30.8%減の784千㎡となった。

#### 建築物着工床面積

単位:千㎡ %

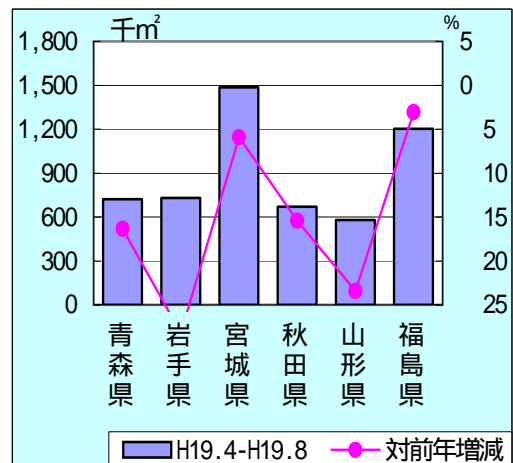
	19年8月	対前年増減
全国	9,816	42.1
東北計	784	30.8
青森県	101	39.9
岩手県	97	51.3
宮城県	197	10.5
秋田県	146	4.1
山形県	70	55.8
福島県	173	26.6



#### 建築物着工床面積年度内累計

単位:千㎡ %

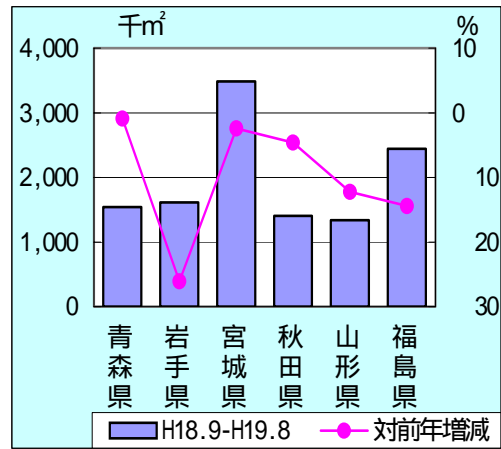
	H18.4-H18.8	H19.4-H19.8	対前年増減
全国	82,677	74,418	10.0
東北計	6,244	5,387	13.7
青森県	862	721	16.4
岩手県	1,017	730	28.2
宮城県	1,579	1,486	5.9
秋田県	791	669	15.4
山形県	756	579	23.4
福島県	1,240	1,202	3.1



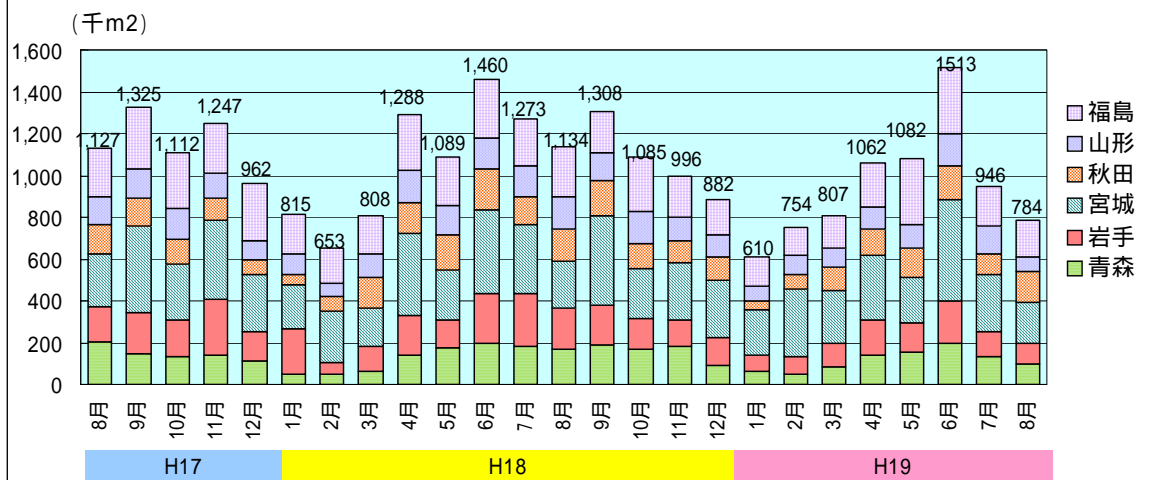
### 建築物着工床面積 1年累計

単位: 千㎡ %

	H17.9-H18.8	H18.9-H19.8	対前年増減
全国	186,315	178,902	4.0
東北計	13,166	11,829	10.2
青森県	1,558	1,544	0.9
岩手県	2,180	1,611	26.1
宮城県	3,571	3,484	2.4
秋田県	1,473	1,405	4.6
山形県	1,527	1,340	12.2
福島県	2,858	2,445	14.5



### 建築物着工床面積の推移 (東北)





#### 4. 新設住宅着工戸数（19年8月実績。国土交通省）

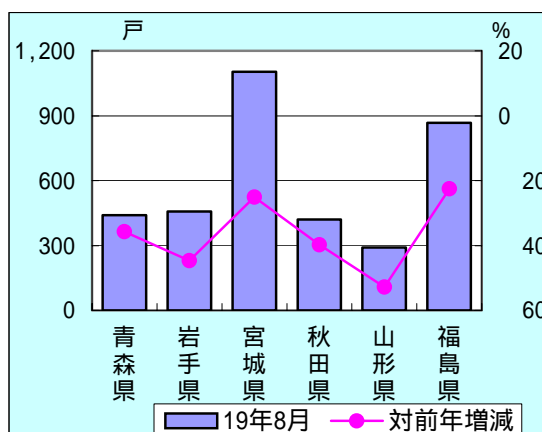
全国の新設住宅着工戸数は、前年同月比で分譲住宅（52.0%減） 貸家（46.6%減） 持家（31.0%減） 給与住宅（27.8%減）がいずれも減少したため、全体では43.3%減の63,076戸となった。

東北は前年同月比で、山形県（52.8%減） 岩手県（44.7%減） 秋田県（39.8%減） 青森県（35.7%減）、宮城県（25.1%減）福島県（22.5%減）がいずれも減少となり、全体では33.9%減の3,580戸となった。

##### 新設住宅着工戸数

単位：戸 %

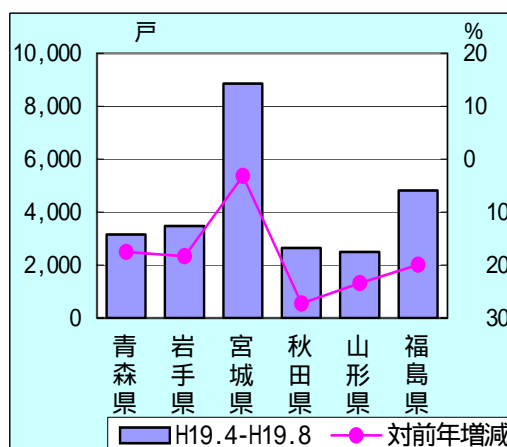
	19年8月	対前年増減
全 国	63,076	43.3
東北計	3,580	33.9
青森県	441	35.7
岩手県	457	44.7
宮城県	1,104	25.1
秋田県	420	39.8
山形県	290	52.8
福島県	868	22.5



##### 新設住宅着工戸数年度内累計

単位：戸 %

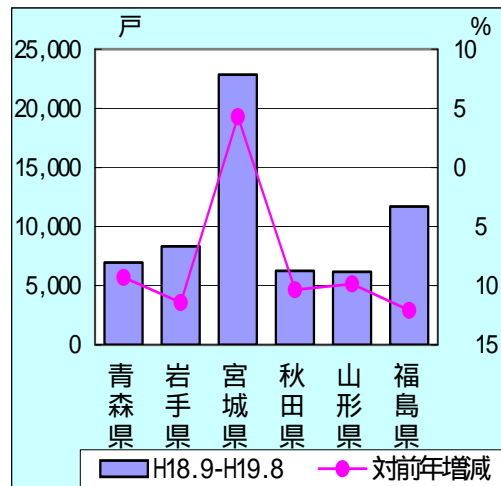
	H18.4-H18.8	H19.4-H19.8	対前年増減
全 国	552,079	470,270	14.8
東北計	30,150	25,458	15.6
青森県	3,819	3,151	17.5
岩手県	4,263	3,481	18.3
宮城県	9,149	8,861	3.1
秋田県	3,639	2,647	27.3
山形県	3,262	2,499	23.4
福島県	6,018	4,819	19.9



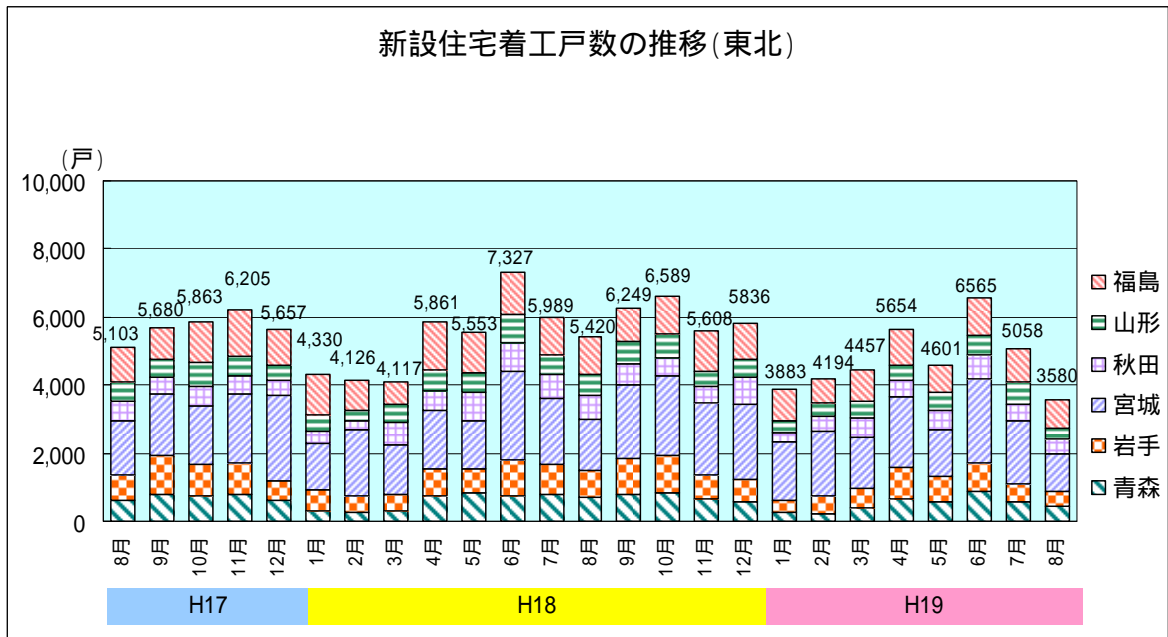
# 新設住宅着工戸数1年累計

単位:戸 %

	H17.9-H18.8	H18.9-H19.8	対前年増減
全国	1,268,505	1,203,437	5.1
東北計	66,128	62,274	5.8
青森県	7,684	6,969	9.3
岩手県	9,407	8,333	11.4
宮城県	21,915	22,854	+4.3
秋田県	6,965	6,245	10.3
山形県	6,857	6,181	9.9
福島県	13,300	11,692	12.1



## 新設住宅着工戸数の推移(東北)



## 5. 19年度事業費等見込み額

(19年6月末見込額。公共事業施行対策東北地方連絡協議会)

19年度における東北全体の事業費は1兆7,506億円、前年度同期比は7.0%減となっている。本工事費は1兆5,764億円、前年度同期比は4.3%減となっている。

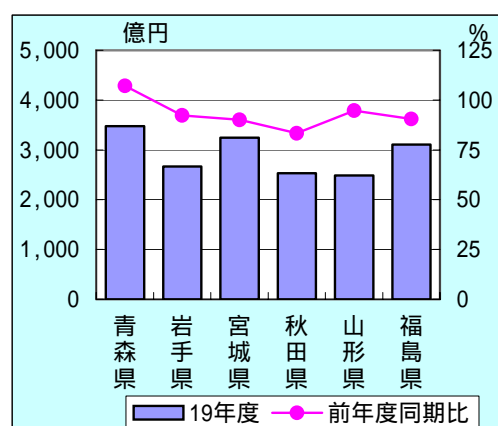
なお、上半期まで(4月～9月)の本工事費の発注計画額は、1兆2,484億円となり、発注率は約79.2%の見込みとなっている。

### 19年度事業費等見込み額

#### 1) 事業費

単位:億円 %

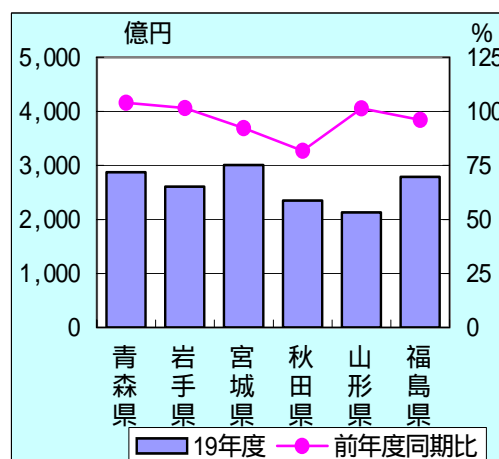
	19年度	18年度	前年度同期比
東北計	17,506	18,821	93.0
青森県	3,475	3,242	107.2
岩手県	2,665	2,884	92.4
宮城県	3,242	3,600	90.1
秋田県	2,531	3,036	83.4
山形県	2,488	2,627	94.7
福島県	3,106	3,432	90.5



#### 2) 本工事費

単位:億円 %

	19年度	18年度	前年度同期比
東北計	15,764	16,473	95.7
青森県	2,873	2,763	104.0
岩手県	2,609	2,571	101.5
宮城県	3,007	3,259	92.3
秋田県	2,351	2,876	81.8
山形県	2,131	2,101	101.4
福島県	2,792	2,905	96.1



# 労働

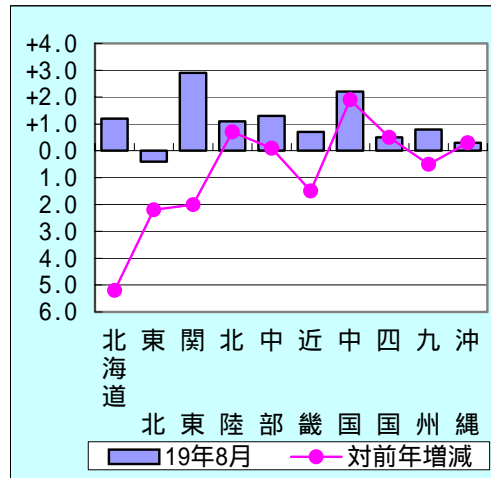
## 1. 建設労働需給の不足率（19年8月調査。国土交通省）

全国8職種計の不足率（原数値）は、1.3%と不足傾向となっている。

東北管内における不足率（原数値）は、0.4%と過剰傾向となっている。

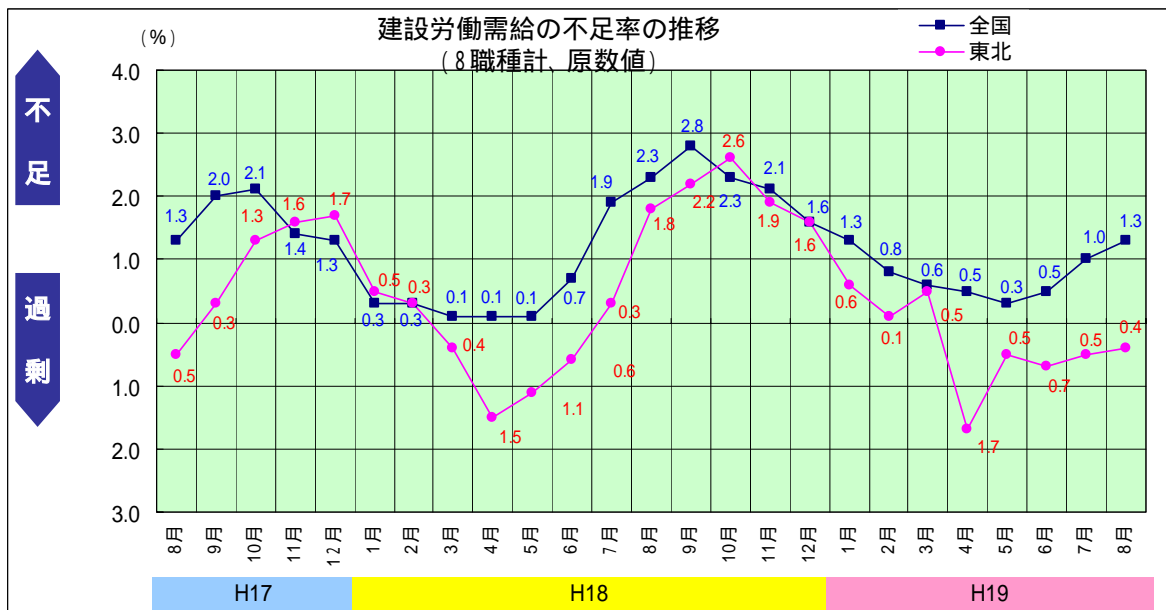
建設労働需給の不足率(8職種計。%)

	19年8月	対前年増減
全国	+1.3	1.0
北海道	+1.2	5.2
東北	0.4	2.2
関東	+2.9	2.0
北陸	+1.1	+0.7
中部	+1.3	+0.1
近畿	+0.7	1.5
中国	+2.2	+1.9
四国	+0.5	+0.5
九州	+0.8	0.5
沖縄	+0.3	+0.3



<備考>

- 1)年月欄のプラスは不足,マイナス(印)は過剰。原数値
- 2)対前年増減欄のプラス(+ )は不足の方向へ、マイナス(印)は過剰の方向に変化。
- 3)8職種とは型枠工(土木、建築)、左官、とび工、鉄筋工(土木、建築)、電気、配管工。



## 倒産

### 1. 企業倒産（19年9月実績。負債総額1,000万以上。東京商工リサーチ）

東北の企業倒産状況は件数において前年同月比63.5%の47件と減少している。県別では、福島県（162.5%）宮城県（150.0%）が増加しているものの、青森県（50.0%）岩手県（42.9%）山形県（27.8%）秋田県（21.4%）が減少している。

負債額では、秋田県（26.9%）青森県（17.1%）が減少となっているものの、宮城県（333.9%）福島県（318.9%）山形県（142.5%）岩手県（123.9%）が増加となっており、全体でも172.4%と増加している。

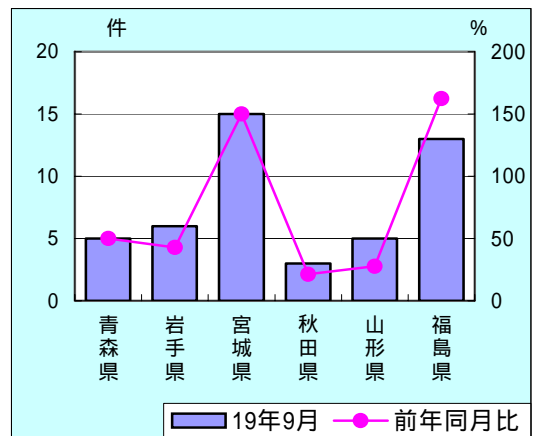
なお、建設業の倒産件数は前年同月比47.1%となっており、全産業で最多の16件となっている。

#### 企業倒産状況

##### 1) 件数

単位:件 %

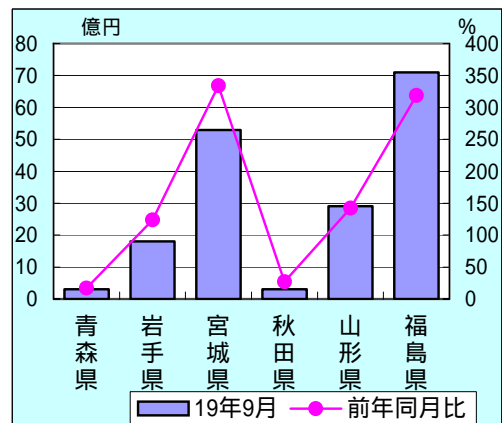
	19年9月	前年同月比
東北計	47	63.5
青森県	5	50.0
岩手県	6	42.9
宮城県	15	150.0
秋田県	3	21.4
山形県	5	27.8
福島県	13	162.5
東北計のうち 建設業	16	47.1

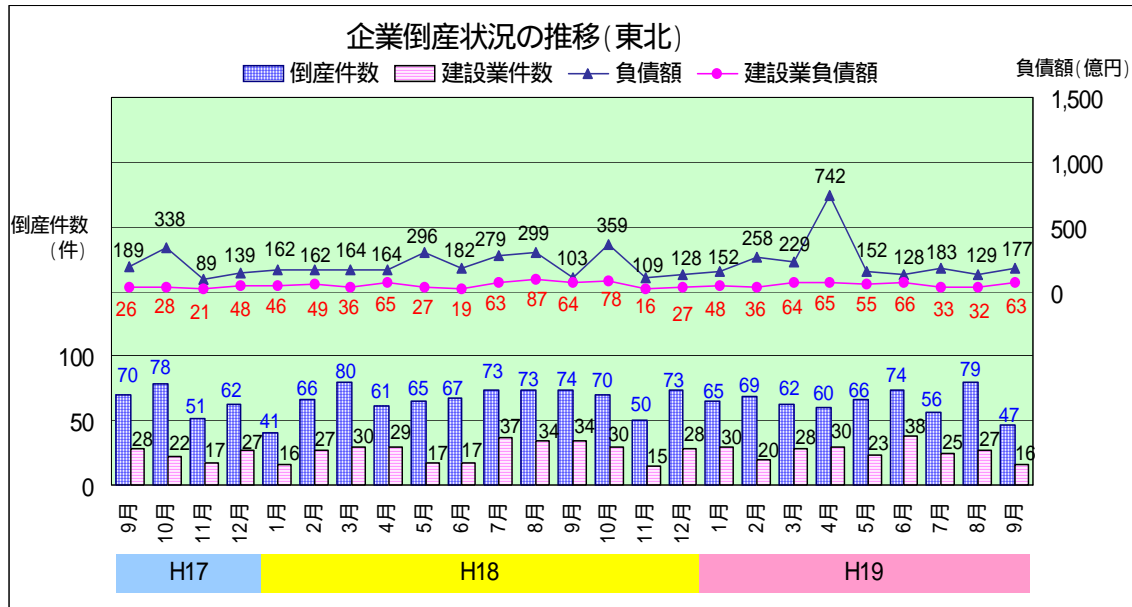


##### 2) 負債額

単位:億円 %

	19年9月	前年同月比
東北計	177	172.4
青森県	3	17.1
岩手県	18	123.9
宮城県	53	333.9
秋田県	3	26.9
山形県	29	142.5
福島県	71	318.9
東北計のうち 建設業	63	99.0





企業倒産件数年度内累計

単位: 件 %

	H18.4-H18.9	H19.4-H19.9	対前年増減
東北計	413	382	7.5
東北計のうち 建設業	168	159	5.4

企業倒産件数1年累計

単位: 件 %

	H17.10-H18.9	H18.10-H19.9	対前年増減
東北計	791	771	2.5
東北計のうち 建設業	307	310	+1.0

企業倒産負債額年度内累計

単位: 億円 %

	H18.4-H18.9	H19.4-H19.9	対前年増減
東北計	1,323	1,511	+14.2
東北計のうち 建設業	325	314	3.4

企業倒産負債額1年累計

単位: 億円 %

	H17.10-H18.9	H18.10-H19.9	対前年増減
東北計	2,377	2,746	+15.5
東北計のうち 建設業	553	583	+5.4

## 景 気

### 1. 企業短期経済観測

〔東北地区6県。四半期毎(3、6、9、12月)日本銀行仙台支店〕

2007年9月調査が最新のデータとなっております。

#### 1) 業況判断

製造業については、+7と前回調査(+8)に比べ1ポイント悪化している。

- ・ これを業種別にみると、木材・木製品(+8 42)、窯業・土石(+35 47)、非鉄金属(+44 +33)などが悪化している。
- ・ 精密機械(+10 +30)などが改善している。

非製造業については、19と前回調査(21)に比べ+2ポイント改善している。

- ・ これを業種別にみると、リース(0 +20)、情報通信(+25 16)、電気・ガス(+18 12)などが改善している。
- ・ 一方、飲食店・宿泊(+3 10)などが悪化している。

先行きは、製造業(+7 +5)、非製造業(+19 20)ともに幾分悪化が見込まれている。

#### 2) 売上高・経常利益

##### (1) 2007年度計画

製造業は、売上高は増収(前年度比+2.2%)計画となっているものの、経常利益は減益(前年度比-10.2%)を見込んでいます。

非製造業は、売上高は減収(前年度比-0.3%)、経常利益は減益(前年度比-4.7%)を見込んでいます。

#### 3) 設備投資額

##### (1) 2007年度計画

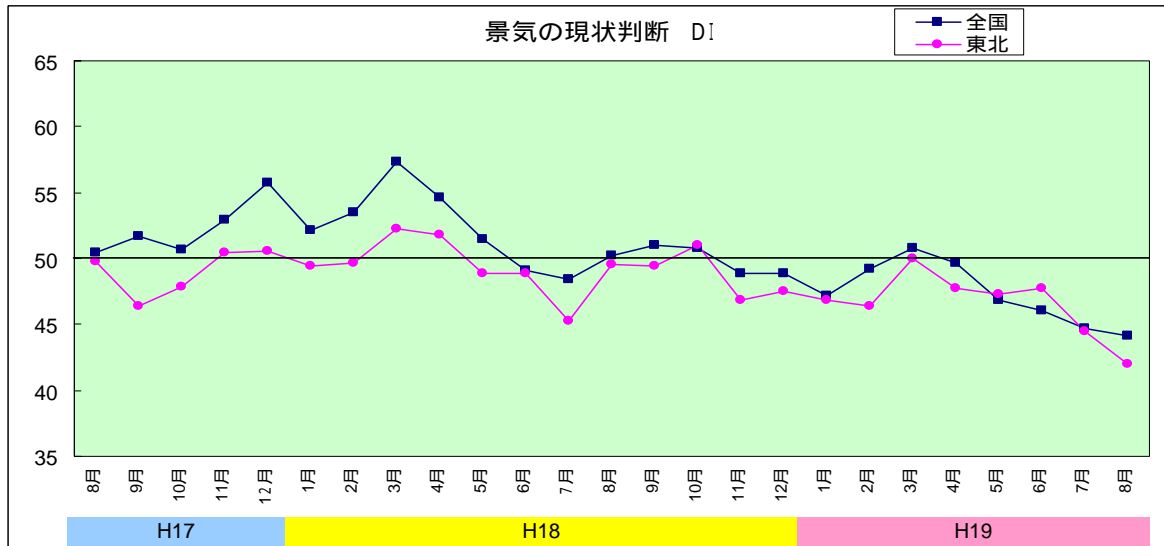
製造業は、前年度比+60.6%の計画となっている。

非製造業は、前年度比+17.3%の計画となっている。

## 主な経済指標

### 1. 景気現状判断 DI (19年8月 内閣府 景気ウォッチャー調査)

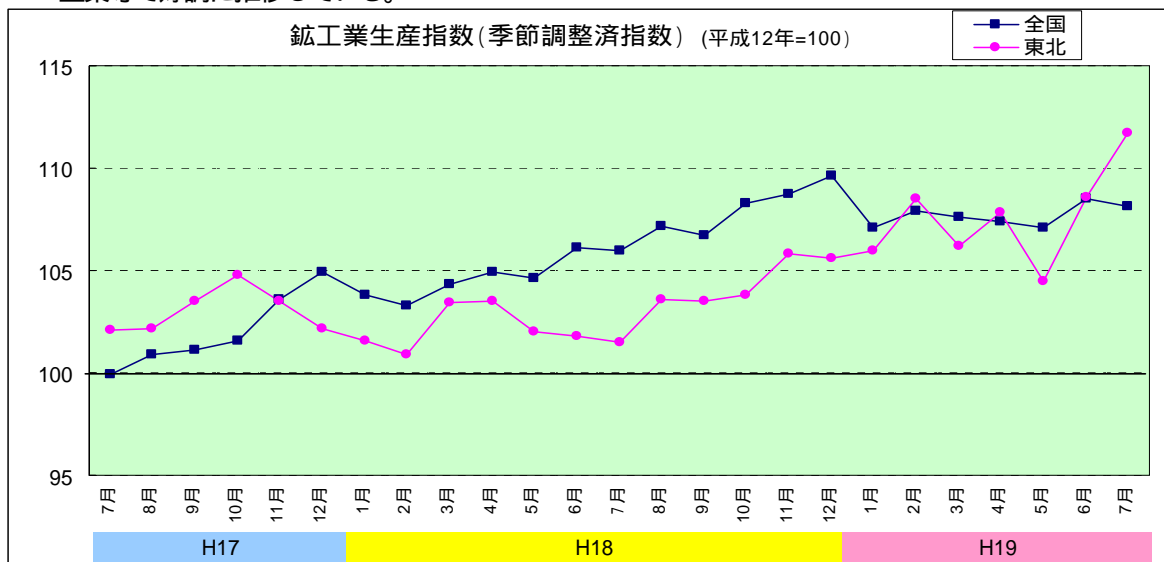
8月の現状判断DIは、42.0で前年同月と比較すると7.6ポイント低下、前月との比較では2.5ポイント低下している。



DIが50を上回れば景気は「良い」、下回れば「悪い」と判断できる

### 2. 鉱工業生産指数 (19年7月 東北経済産業局 東北地域鉱工業生産動向)

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、111.7(前年同月比10.0%上昇)と2ヶ月連続の上昇となった。電子部品・デバイス工業、情報通信機械工業、電気機械工業等で好調に推移している。



平成12年=100

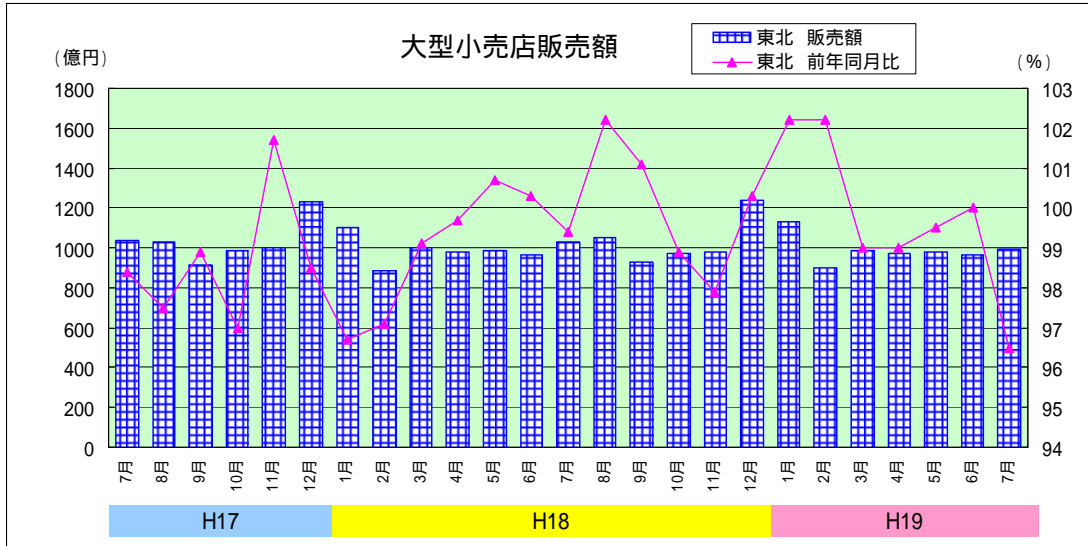
最新月の値は速報値

値は季節調整済み



### 3. 大型小売店販売額（19年7月 東北経済産業局 大型小売店販売額動向）

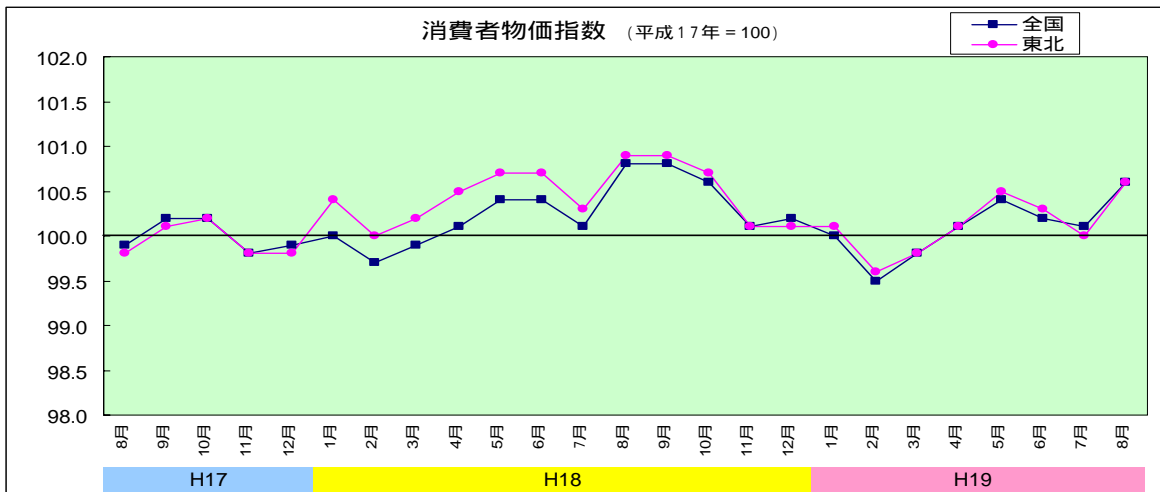
7月の大型小売店販売額は、全店舗ベースで前年同月比3.5%減となった。業態別では、百貨店は同11.4%減、スーパーが同0.5%減となった。



値は全店舗ベース

### 4. 消費者物価指数（19年8月 総務省 消費者物価指数）

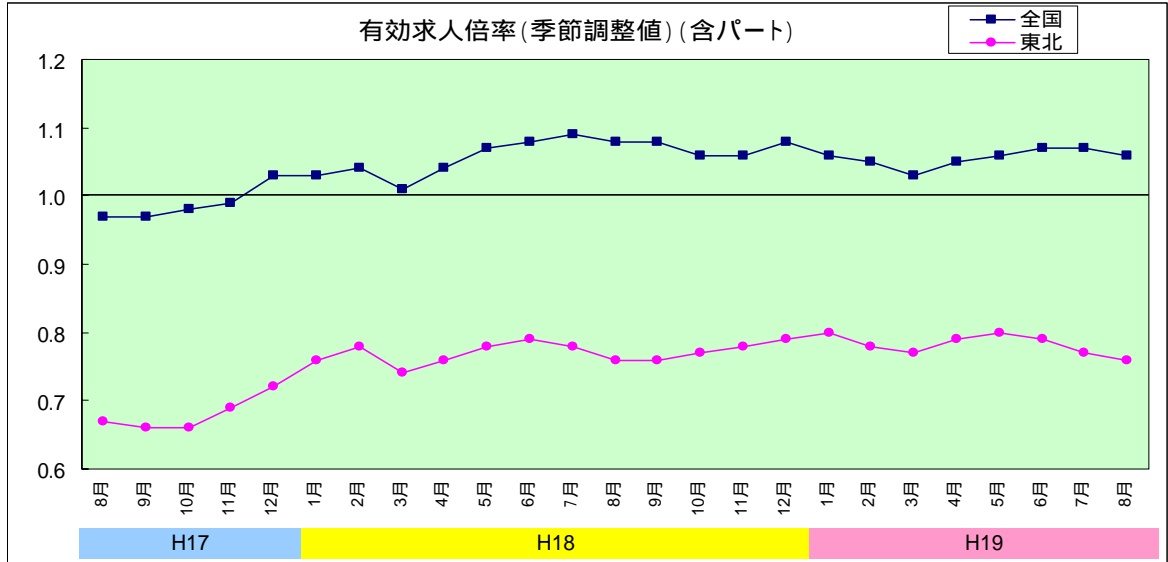
消費者物価指数は、平成17年を100として100.6となり、前月比は0.6%の上昇。前年同月比は0.3%の下落となった。



平成17年=100

## 5. 有効求人倍率(19年8月 厚生労働省 一般職業紹介状況)

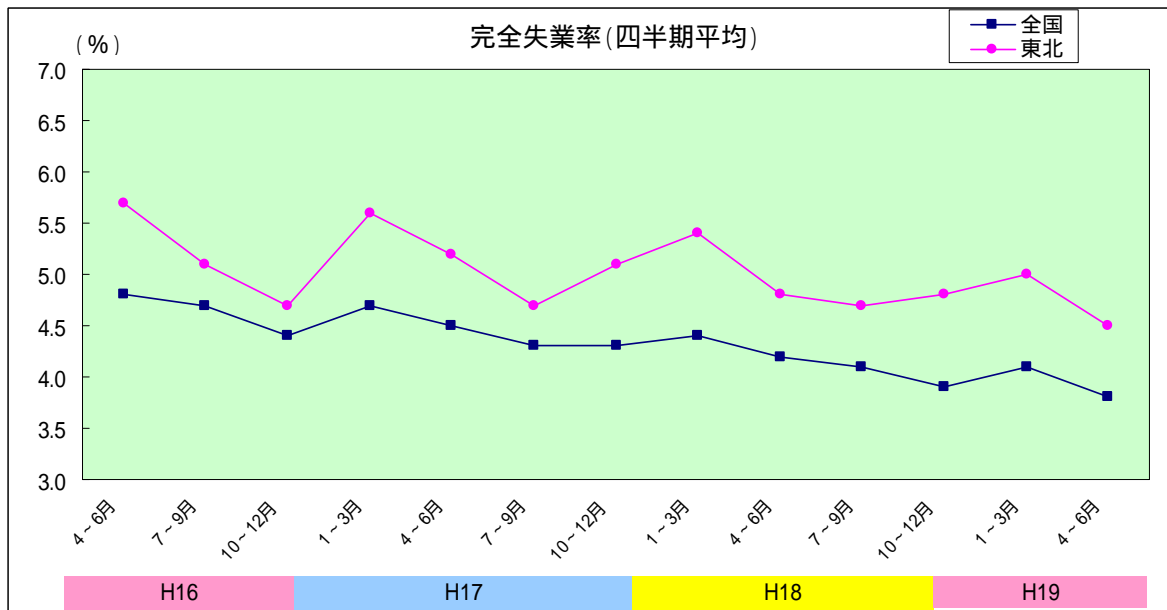
有効求人倍率は、0.76倍(季節調整値)と前月比0.01ポイントの低下、前年同月比は0.00ポイントと横ばいとなった。



値は季節調整済み

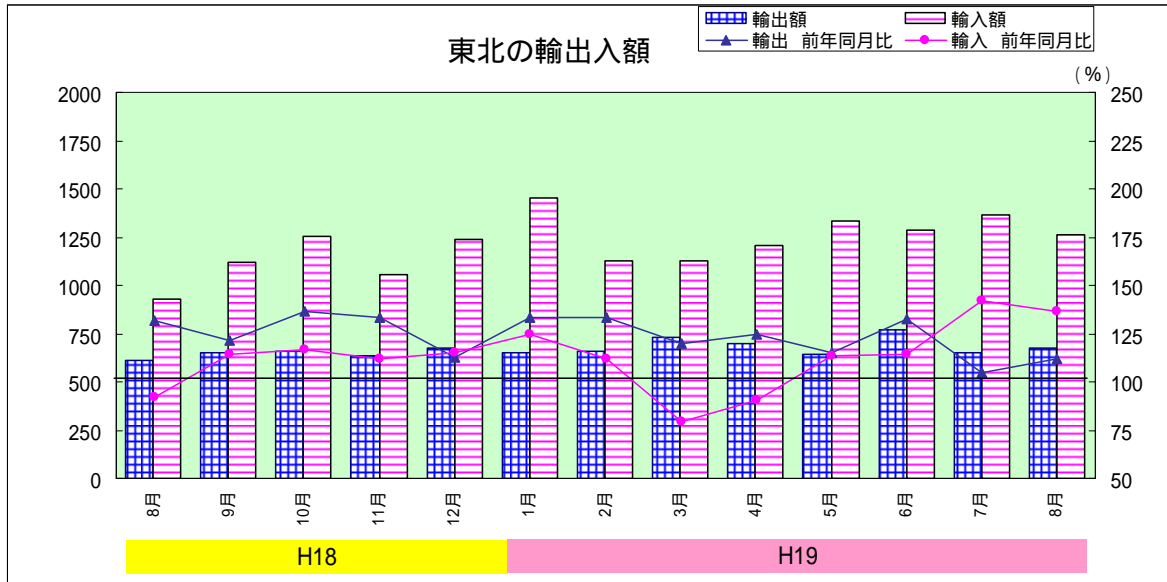
## 6. 完全失業率(19年4~6月期 総務省 労働力調査)

4~6月期の完全失業率(原数値)は4.5%で前年同期に比べ0.3ポイントの低下となり改善している。



## 7. 輸出入額（19年8月 横浜、東京、函館税関 貿易統計）

輸出は前年同月比111.5%の677.4億円、輸入では、前年同月比136.4%の1,262.6億円となり、ともに前年同月を上回っている。



値は全て速報値